

# 2022 CSR報告書 カボウプラス

CSR: Corporate Social Responsibility

新しい価値の創造を通じて、  
豊かな社会づくりに貢献します。



## 企業理念

カンボウプラスは  
新しい価値の創造を通じて  
豊かな社会づくりに貢献します。

### CSR基本方針

カンボウプラスは「社会との共生」、「お客様との共生」、「従業員との共生」を目指し、メーカーの責務として、環境に配慮し、お客様のニーズに応えた安全で高品質な製品の提供を通じて社会に貢献します。

## CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	6
その他のかかわり	9
ISO26000対照表	13

## カンボウプラスの概要

代表者	代表取締役社長 中村信治
設立	1939年3月24日
資本金	10億2,030万円
決算月	3月
従業員	172人
主要事業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化によるキャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した製品の販売 3. 一級建築士事務所 建築物・工作物の設計・施工
事業所	本社、東京支店、福井工場
外部認証	福井工場 ISO9001、ISO14001

## 持続可能な社会の発展を目指して

### <ご挨拶>

平素よりカンボウプラスをお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、および感染拡大により厳しい生活環境におかれている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

### <2021年度を振り返って>

2021年度は一昨年と同じようにコロナウイルスによる社会情勢の変化に迷わされ、緊急事態宣言の発令で感染者数が落ち着いたかと思うとまた増加、正常化したかと思うと振り出しに戻るといった1年ではなかったでしょうか。感染予防対策として無観客で開催された東京オリンピックでは経済効果も薄れてしまいました。秋以降の半導体不足による国内生産品の減産、ナフサ価格上昇による原材料費の値上げ、不安定な世界情勢などにより、経済活動の正常化にはまだ時間がかかりそうです。

### <環境への取り組み>

カンボウプラスは、2002年に「環境報告書」を初めて発行し20年を迎えます。2006年から「CSR報告書」に名前を変えて、1年に1回発行しています。日本は地震や台風・火山噴火・ゲリラ豪雨など、他国に比べて自然災害に遭遇する可能性が高い国です。少しでも被害を小さくできるよう社会全体として防災対策が実施されています。当社は「防災」「減災」「復興」に向けて浸水防止用のパネル型止水シート、緊急用ターポリン救護担架や高性能大型土のう袋などの防災を意識した製品を開発してきました。環境への取り組みを意識し、さらにものづくりを進め、新しい価値の創造を通じて豊かな社会づくりに貢献します。

### <福井工場操業50周年を迎え>

当社カンボウプラスは神戸で産声を上げ、樹脂加工をメインに生産増強する際、福井に工場を設立しました。その福井工場も今年で50年を迎えることになりました。これも皆様方の応援のお陰であると感謝しております。ESG投資やSDGsなど、持続可能な社会の実現に向けた動きが加速しています。経済が段階的に正常化に向かう中で、当社はビジネスモデルを変革しつつ、SDGs 参画による事業拡大が、持続可能な社会の発展に繋がることを強く意識しながら、変化する社会に対応できる強い会社を築き上げて参ります。

このたび2021年度の活動をまとめた「2022 CSR報告書」を発行いたしました。

皆様の忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

代表取締役社長 **中村信治**



## 当社商品のご紹介

当社では、災害時に役立つ商品の開発、販売に力を入れています。ここでは、一部を紹介します。またwithコロナ・afterコロナを見据え、HP刷新、ECサイト開設、DtoCブランドにも取り組んでいます。

### ■らくらくシェルターテント

災害避難時など、集団生活を余儀なくされる避難所でもプライベートな空間が確保できるテントです。昨今の防災意識の高まりから注目を集めています。



### ■座・リラクマイスター

お尻や背中への負担を軽減する、座いす・ベッド兼用の防災商品が誕生しました。当社製ターポリンフォームの使用により、底冷え、寒さから守ってくれます。座って、寝て、備えて安心の商品です。



### ■ホームページを刷新

2021年6月よりホームページをリニューアルしました。今後とも、分かりやすい、ウェブサイトの運営を目指し、内容の充実を図っていきます。  
※過去のCSR報告書もご覧いただけます。  
URL <https://kanbo.co.jp/>



### ■ECサイトを開設

当社のオフィシャルオンラインショップが開設しました。  
URL <https://shop.kanbo.co.jp/>



## DtoC ブランド「DIGREAL」を立ち上げ

20～30代の若手社員を中心に商品企画プロジェクトを発足。様々なアイデアを出し合い、機能的素材を最大限に活かした商品づくりに取り組むべく、素材（マテリアル）を掘り出す（ディグ） DtoCブランド“DIGREAL（ディグリアル）”を立ち上げました。難燃素材を使用した焚き火用ウェアやドッグウェア、防水帆布を使用したガーデニングエプロン、カイハラデニムを使用した鉢カバールなどを企画しました。



### ■クラウドファンディング初挑戦の難燃焚き火ウェア

中でも「親子でキャンプ」をコンセプトにした難燃焚き火用ウェアはクラウドファンディングのMakuakeにも挑戦。初挑戦ながら、プロジェクト開始6時間で目標達成という快挙を成し遂げました。今後も、皆様の生活をより身近で支えていけるような商品づくりを目指します。またSDGsへの取り組みの一環として、当社で製造している生地のフェンツを利用した商品も企画中です。

## 【品質について】

### 品質方針

福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。

福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。

福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。

福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

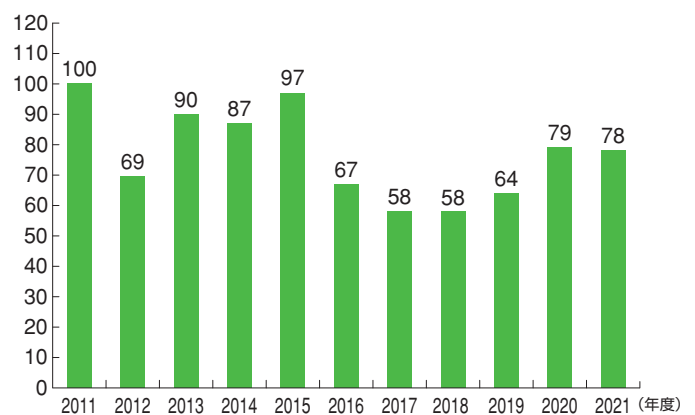
### 苦情発生状況

2021年度の苦情発生件数は前年度とほぼ同水準であり、苦情増加傾向に歯止めをかけることができませんでした。

昨年度と同様に検査工程からの欠点流出が多い結果でした。お客様よりご指摘いただいた不具合の真因を捉え、確実に改善を進めていきます。

苦情発生件数推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。



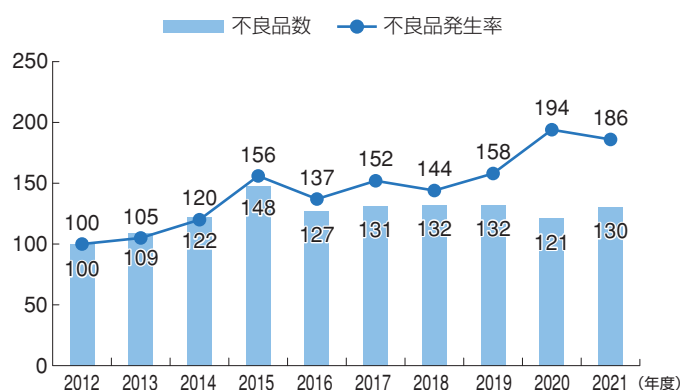
### 不良品発生状況

不良品発生件数は横ばいの傾向が続いていますが、2021年度の不良品発生率は昨年度と比較し減少に転じております。不良品発生に歯止めをかけるため、人的要因の不良品発生対策に注力し、品質意識を向上させることにより、改善が得られました。

当社製品を安心してご使用いただけるよう、「設備の改善」「作業手順書の見直し」「加工条件の改訂」「工程内検査の徹底」「作業環境の改善」「3Sの推進」など、様々な活動で不良品発生低減に取り組んでいきます。

不良品発生件数推移

(注) 2012年度を100とした場合の指数表示となっています。



### 小集団活動

福井工場では安全性、生産性の向上、品質向上のために班長を中心にグループとなり、作業標準書の更新を行っています。

労災ゼロを目指し、KY活動やリスクアセスメントの作成、第三者の目線で危険箇所を発見するために、安全パトロールを実施し、より安全な職場にする活動にも積極的に取り組んでいきます。



## 環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

### 『環境基本方針』

当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

1. 当社は、地域社会と協調し、対話を大切に、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
2. 当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
3. 定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4. 当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
5. 当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
6. 環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
7. 環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、インターネットを含めすべての人に公表します。

## 事業活動における環境負荷(福井工場)



## 環境負荷低減製品開発への取り組み

お客様のSDGsに対する意識が年々高まっているのが感じられます。製品開発においてもSDGsを意識し、環境負荷を低減するような新製品開発の取り組みを行っています。カンボウプラスの製品には可塑剤が多く含まれますが、この可塑剤の使用を減らすような新製品の開発、またバイオマス素材を取り込んだ製品開発、製品設計など、環境負荷が少しでも少なくなるように取り組んでいます。また、既存製品においても耐久性の向上、長寿命化に向け再設計するなど、使用期間が延びることで、少しでも廃棄物が減らせるような取り組みも行っていきます。

## 地球温暖化防止への取り組み

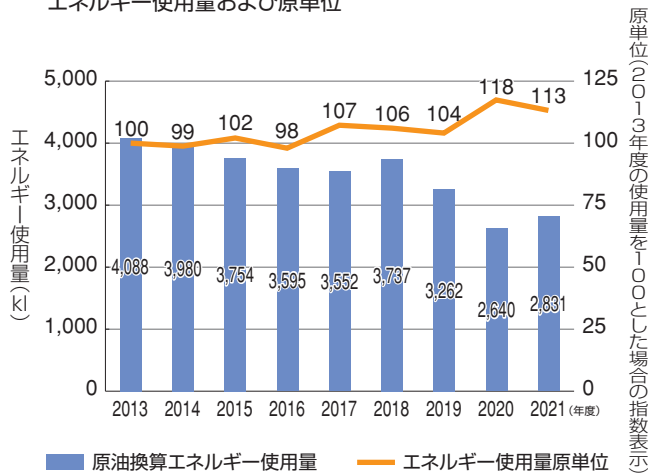
地球環境を考える上で、企業のCO<sub>2</sub>排出量削減への取り組みは非常に重要な役割を担っています。当社は地球温暖化防止のため、CO<sub>2</sub>排出量削減の目標を掲げ、「クールビズ」「ノーマイカーデー」「空調設備の温度設定の調整」「照明のLED化」「生産設備の効率化・低エネルギー化」「モーダルシフト」「廃棄物の削減や再生化」「省エネ製品の開発」など、従業員一丸となって推進し、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。



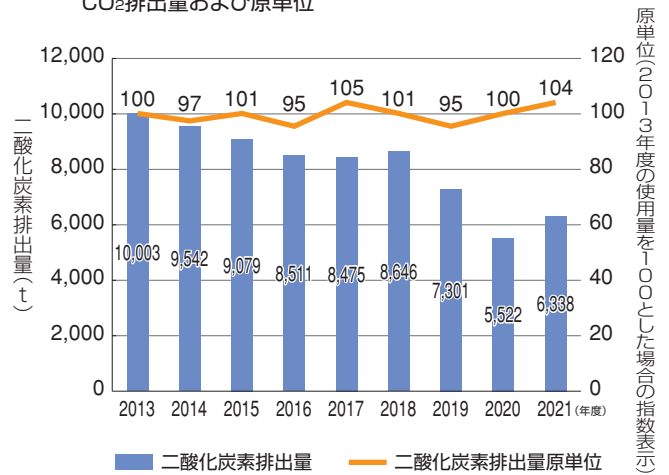
## エネルギー消費量とCO2排出量

排煙処理装置プロセスファンおよび暑熱対策冷風装置給気ファンにインバータを設置し、生産設備のLED蛍光灯更新を実施しましたが、コロナ禍の影響による生産調整が行われ、CO2排出量の原単位が悪化しました。インバータなどの省エネ設備の導入を引き続き実施します。また、再生可能エネルギー、燃料転換などについての調査・研究についても、引き続き進めていきます。

エネルギー使用量および原単位



CO2排出量および原単位

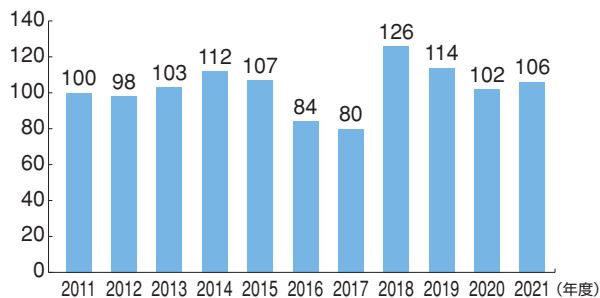


## 廃棄物削減への取り組み

昨年度より生産量が増加し、廃棄物の総量も増加しました。再生が困難な廃棄物が増えており、リサイクル・リユース量は減少しています。今後は、再生が困難な廃棄物の削減と再生が大きな課題となります。

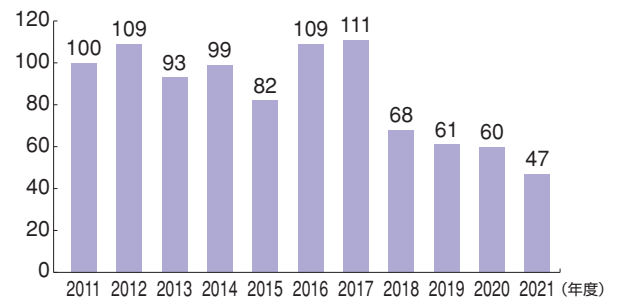
最終処分廃棄物量推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。



リサイクル・リユース量推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。





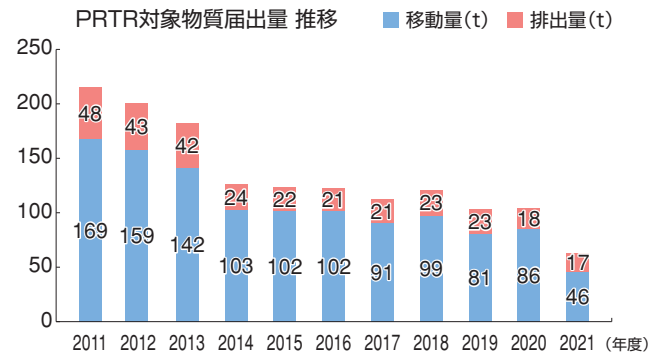


## PRTR法への対応

2021年度のPRTR対象物質の排出量及び移動量の届出合計量は前年度よりも約40%減少しました。

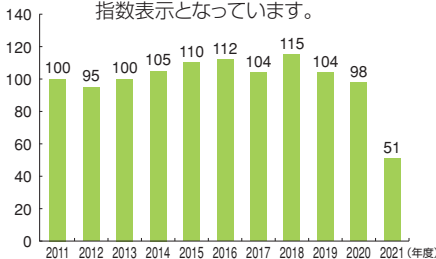
PRTR制度では第一種指定化学物質の環境へ排出される量（排出量）及び対象物質を含む廃棄物が事業所外へ移動される量（移動量）について届け出ることになっています。

2021年度のPRTR対象物質の取扱量は前年度よりも原単位比で約48%減となりました。これは対象物質のひとつである可塑剤フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）使用の置き換えが進んだことが影響しています。2022年度はさらに置き換えが進み、最終的には全廃とする計画となっています。移動量の原単位指数が増加していますが、これは生産量に対しての廃棄物量の指数が大きくなっている影響です。廃棄物量削減の活動を継続実施していきます。

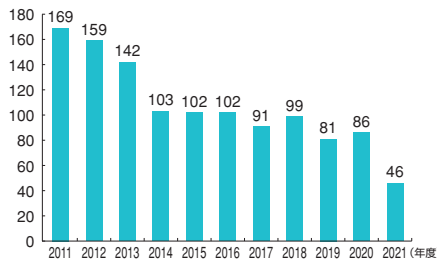


PRTR対象物質取扱量推移

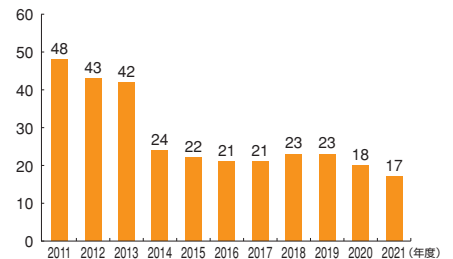
(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。



PRTR対象物質移動量推移 (t)



PRTR対象物質排出量推移 (t)



## グリーン推進活動

2021年度も第12回ニチバン巻心ECOプロジェクトに参加し感謝状をいただきました。

また、ペットボトルキャップの回収を行い、特定非営利活動法人エコ・ワクチン協力会を通じて、プラスチックとして再利用することによって得た利益をワクチン購入代金として支援する活動（エコキャップ回収運動）にも参加しています。今後も継続して活動を行っていきます。

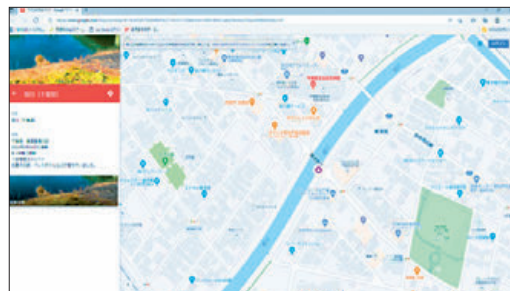


カンボウプラスは事業所周辺の美化活動を継続的に実施しています。当社では、2022年2月に「大阪マラソン・びわ湖毎日マラソン統合大会“クリーンUP”作戦」に参加し、空き缶や吸い殻などのゴミ拾いを行いました。また、東京支店では海洋プラごみ削減のための写真投稿ボランティア活動に参加し、提供した写真が海洋プラごみMAPに反映されました。

“クリーンUP”作戦



海洋プラごみMAP



## 従業員への教育

人材育成を経営重要課題と考え、職種別研修、階層別研修、自己啓発のための通信教育支援などを実施しています。また、定額制社外研修制度を設け、社外ビジネスセミナーへの参加も実施しています。

2021年度もWEBシステムを活用した社内研修やオンライン英会話、eラーニングを継続して実施しています。

今後も従業員教育の充実を図り、社会から愛され信頼される企業であり続けるため、従業員の能力向上に努めていきます。

実施月	研修名	研修内容
2021年 4月	新入社員研修	新人導入研修（WEBセミナー）、社外安全研修など
2021年 5月	営業職研修	ブランディングについて（社内講師）
2021年 6月	中級者研修	中堅社員の役割と実務（WEBセミナー）
2021年11月	技術研修会	塩ビペーストについて
2022年 1月	事務職研修	RPAについて（社内講師）
2022年 2月	監督職研修	ハラスメント研修
2022年 2月	昇級者研修	管理者の役割と心得、管理職の役割と実務（WEBセミナー）
2022年 2月	新入社員フォローアップ研修	「仕事の基本、職場のルール」と「安全について」
2022年 3月	考課者訓練	人事考課の意義や考課者のレベルアップ
2022年 3月	製造職研修	安全衛生について

営業職研修



技術研修会



## 公的資格取得の推進

2012年度に従業員の能力向上と自己啓発を促進するため、公的資格支援規定を策定し、従事業務に主体性をもって遂行できるよう各種公的資格の取得を進めています。2021年度は、国家資格である二級建築施工管理技士から、玉掛け技能、フォークリフト運転技能、はい作業技能、有機溶剤作業主任者技能といった職場の安全・衛生向上のための公的資格まで39人が資格を取得しました。

## 雇用

2006年度に60歳で定年を迎えた従業員に対して再雇用制度を創設し、雇用延長者の知識やキャリアを生かして若年者従業員の育成などを行っています。また、2012年度には、年金不支給期間への対応として、65歳までの雇用延長制度を確立し、2013年度には、雇用延長者に評価制度を導入し、仕事への意欲を向上させるため、シニア制度規定を制定しました。

(人)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
定年退職者数	1	3	3	4
雇用延長者数	0	3	3	3
雇用延長者合計	14	10	9	11

## インターンシップ

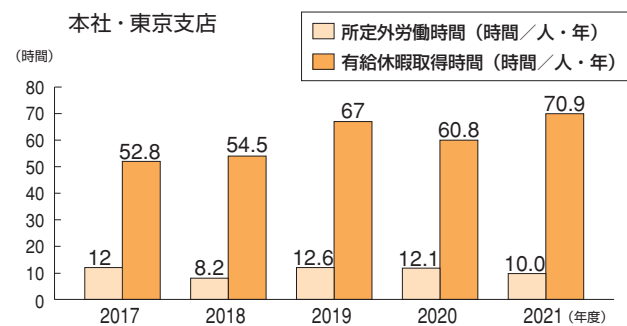
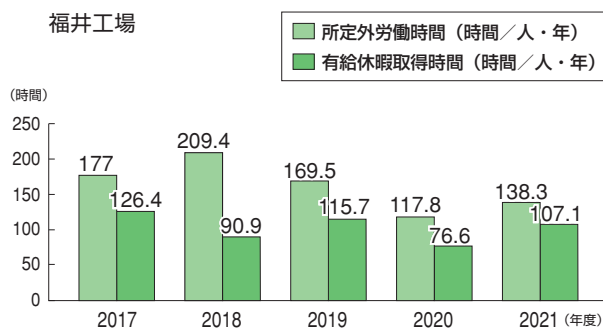
学生の就業意識の向上や業界研究を手助けする機会を提供し、学生のキャリア形成の支援をすることを目的にインターンシップを受け入れています。2021年度は、福井県の高校生3人を受け入れました。品質管理や包装業務の職場体験、先輩社員との交流を通じて、「働くとはどういうことなのか」実践を通じて学習してもらいました。



## ワークライフバランス

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を目的に、ノー残業デー、最終退出時間の設定と誕生日有給休暇、一斉有給休暇の取得を促進し、総労働時間の削減と長時間労働の撲滅に取り組んでいます。

また、2021年1月には育児介護休業法の改正に伴い、子どものための看護休暇を1時間単位で柔軟に取得できるように育児休業等規定を改定し、仕事と子育てなどの両立支援に積極的に取り組んでいます。



## 緊急事態への備え

2016年4月1日より「事業継続マネジメントシステム (BCMS)」の運用が始まり、BCMSに関する教育・研修を継続的に実施しています。2018年12月には、震災や台風などの自然災害、テロなどの人為災害における非常時の従業員の安否確認のため、警備会社の「安否確認サービス」を導入しました。より迅速に従業員の安否が確認できるように日頃からの訓練などを実施しています。

2021年10月に関東地方で発生した震度5強の地震では、安否確認システムが発動し、対象従業員の安否をシステム上で確認することができました。



## 労働安全衛生

カンボウプラスでは、安全衛生パトロールや労使合同で開催する安全衛生委員会を通じて、全従業員が安全で働きやすく、健康に配慮した職場の確保に努めています。2021年度は、健康づくりの取り組みとして、健康経営®の考え方に基づき、本社・東京支店で全国健康保険協会の「健康宣言」を行いました。

主な活動	事業所
安全衛生管理活動計画表の策定	本社・東京・福井工場
安全衛生委員会の定期開催(労使合同)	本社・東京・福井工場
安全衛生パトロールの定期実施と是正処置	本社・東京・福井工場
新入社員への安全衛生教育の実施	本社・東京・福井工場
定期健診、生活習慣病予防検診、健康相談会の実施	本社・東京・福井工場
マスクの配布、うがい薬・消毒薬の設置	本社・東京・福井工場
ストレスチェックの実施	本社・東京・福井工場
就業時間中の禁煙の実施	本社・東京・福井工場
作業環境測定の実施	福井工場
特殊健康診断の実施	福井工場
安全衛生コンサルタントによる工場パトロール(毎月)	福井工場
安全衛生コンサルタントによる講話	福井工場
冬用タイヤ装着確認	福井工場
産業医による工場パトロール	福井工場
職場ごとのリスクアセスメントの実施及び事例発表(毎月)	福井工場

### 労働災害発生件数

2021年度も前年度に続き、労災ゼロを達成しました。福井工場では労災ゼロを目指し、リスクアセスメントや安全教育のさらなる推進、安全衛生コンサルタントによるパトロール・指導など安全対策を一層推し進めていきます。

### 休業労働災害発生件数

2017年度	2件
2018年度	0件
2019年度	2件
2020年度	0件
2021年度	0件

## 内部通報制度

カンボウプラスは違法行為の防止、早期発見及び是正を図るため「カンボウ・ヘルプライン」と呼ばれる内部通報制度を設けています。

2022年2月には、全従業員を対象としたリスク・コンプライアンス研修を実施しました。今後も内部情報提供者の保護とともにコンプライアンスの強化を図り、ハラスメント教育にも努めていきます。

## 「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証取得

カンボウプラスは、2021年12月1日付で「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の二つ星認証を受けました。「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」とは、大阪市が、女性にとって働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業を、一定の基準で認証し、社会的に認知されることでその取り組みが広く普及するよう実施しているものです。

- ・「意欲のある女性が活躍し続けられる組織」
- ・「仕事と生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）支援」
- ・「男性の育児や家事、地域活動への参画支援」

それぞれの項目で制度面の整備に加え実績が伴う企業として、「二つ星認証企業」として認証されました。

引き続き、社員が生き生きと働くことができる環境整備に、力を入れていきます。



## 新型コロナウイルス感染症予防対策

カンボウプラスは、新型コロナウイルス感染症予防対策として、各事業所に消毒液、飛沫感染防止パネルなどの間仕切り、非接触式体温計を設置しています。

マスクの配布や在宅勤務、時差出勤なども継続して実施しており、2021年度は、感染拡大防止策の一環として、ワクチン接種のための特別有給休暇を付与する制度を導入しました。



非接触式体温計



消毒液



## ISO26000対照表

ISO26000の7つの中核主題および課題に対して、当CSR報告書に掲載している取り組み内容を対比させました。

ISO26000の中核主題	課 題	カンボウプラスの取り組み	ページ
組織統治		企業理念	1
人権	1. デューティリジェンス	その他の 従業員への教育	9
	2. 人権に関する危機的状況	かかわり 雇用	9
	3. 加担の回避	ワークライフバランス	10
	4. 苦情解決	緊急事態への備え	10
	5. 差別及び社会的弱者	内部通報制度	11
	6. 市民的及び政治的権利		
	7. 経済的、社会的及び文化的権利		
	8. 労働における基本的原則及び権利		
労働慣行	1. 雇用及び雇用関係	社会との 小集団活動	5
	2. 労働条件及び社会的保護	かかわり	
	3. 社会対話	その他の 従業員への教育	9
	4. 労働における安全衛生	かかわり 公的資格取得の推進	9
	5. 職場における人材育成及び訓練	雇用	9
		インターンシップ	10
		ワークライフバランス	10
		緊急事態への備え	10
労働安全衛生	11		
「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証取得	12		
新型コロナウイルス感染症予防対策	12		
環境	1. 汚染の予防	環境との 環境方針	6
	2. 持続可能な資源の利用	かかわり 事業活動における環境負荷(福井工場)	6
	3. 気候変動の緩和及び気候変動への対応	環境負荷低減製品開発への取り組み	6
		エネルギー消費量とCO <sub>2</sub> 排出量	7
	4. 環境保護、生物多様性及び自然生息地の回復	廃棄物削減への取り組み	7
		PRTR法への対応	8
		グリーン推進活動	8
	公正な事業慣行	1. 汚職防止	その他の 従業員への教育
2. 責任ある政治的関与		かかわり 内部通報制度	11
3. 公正な競争			
4. バリューチェーンにおける社会的責任の推進			
5. 財産権の尊重			
消費者課題	1. 公正なマーケティング、事実に即した偏りの無い情報及び公正な契約慣行	社会との 品質方針	5
		かかわり 苦情発生状況	5
	2. 消費者の安全衛生の保護	不良品発生状況	5
		環境との 環境負荷低減製品開発への取り組み	6
	3. 持続可能な消費	かかわり PRTR法への対応	8
	4. 消費者に対するサービス、支援、並びに苦情及び紛争の解決		
	5. 消費者データ保護及びプライバシー		
6. 必要不可欠なサービスへのアクセス			
7. 教育及び意識向上			
コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	1. コミュニティへの参画	環境との グリーン推進活動	8
	2. 教育及び文化	かかわり	
	3. 雇用創出及び技能開発	その他の インターンシップ	10
		かかわり 「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証取得	12
	4. 技術の開発及び技術へのアクセス		
	5. 富及び所得の創出		
	6. 健康		
7. 社会投資			



## カンボウプラス株式会社

〒541-0054

大阪府中央区南本町1-8-14 JRE堺筋本町ビル

TEL 06-6262-1277 FAX 06-6262-9419

URL <https://www.kanbo.co.jp/>

